

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和8年第16週 (4月13日~4月19日)

流行性耳下腺炎(おたふく風邪)の報告がありました

流行性耳下腺炎は、発熱や耳の下の腫れ・痛みが主な症状です。飛まつ感染や接触感染で広がるため、手洗いや咳エチケットに気をつけましょう。予防にはワクチン接種が有効ですが、任意接種(自費)となっています。地域によっては助成制度があるため、お住まいの自治体にご確認ください。

大分市内で重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の報告がありました

4月14日に、県内で今年に入って2例目となるSFTSの報告がありました。
 ダニが媒介する感染症には、SFTSの他に「日本紅斑熱」などもあります。マダニの活動が活発になる春から秋にかけて、マダニに刺される危険性が高くなります。マダニは、野生動物が出現する野山だけでなく、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などに生息しています。山や草むらで活動する際は、以下のポイントに気をつけて、マダニに咬まれないように気をつけましょう。また、SFTSは犬や猫にも感染する事がわかっています。ペットを外に出す際は、ペット用のダニ駆除剤を使用したり、帰宅時に体の表面をチェックしましょう。
 吸血中のマダニに気がついたときは、無理に取り除こうとせずに、速やかに医療機関(皮膚科等)を受診してください。マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意しましょう。

1. 肌の露出を少なくする。マダニを見つけやすいように、明るい色の服がよいです。
2. 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認する。
3. 虫よけ剤(忌避剤)を使用する

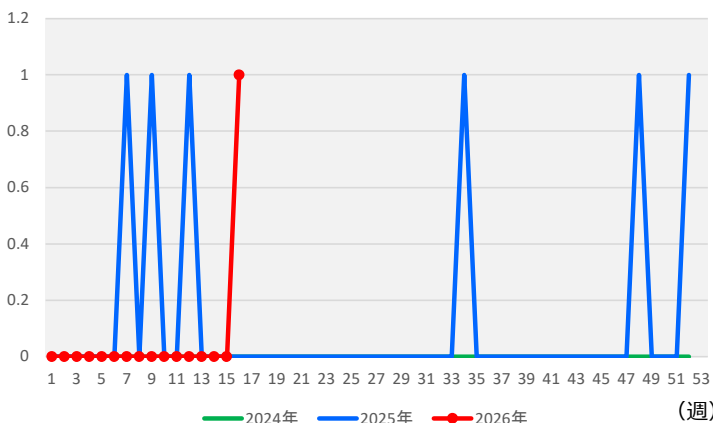
ゴールデンウィーク中に国内外への旅行をする際は、感染症にご注意ください!



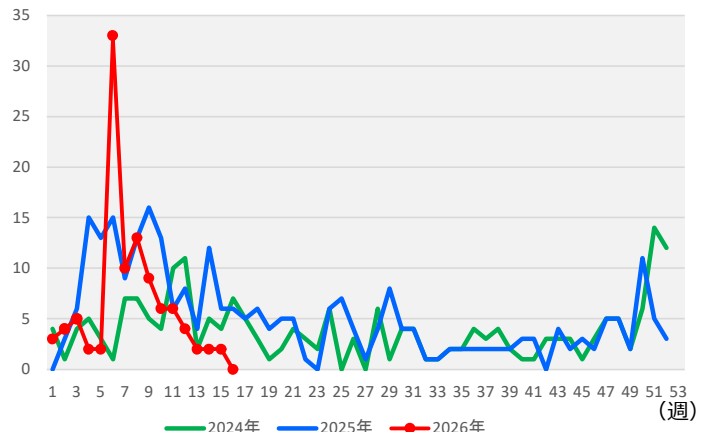
(第16週) (調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)		
	A型	B型	不明																		
0歳																					
1~3歳																					
4~6歳														1							
7~9歳																					
10~14歳																					
15~19歳																					
20歳以上																					
今週														1							
70歳以上(再掲)																					
先週			3																		

(人) 流行性耳下腺炎竹田市8医療機関総数



(人) 感染性胃腸炎竹田市8医療機関総数



森・草むら・公園などに
生息しています



そのマダニ ウイルスをもっているかも?

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

SFTS とは

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれて感染するダニ媒介感染症です。

春と秋は、特に注意!

近年
増加中!!

効果的な対策

虫よけ剤を正しく使う



1 腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。

2 顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。

3 塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

肌を露出しない服装



虫よけ剤はムラなく
しっかり塗りましょう!!

※室内外で飼育する愛玩動物による家屋内持ち込みにも注意が必要です

マダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



大分県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全・安心・健康な暮らしに関する取り組みを進めています。

大分県ダニ媒介感染症
情報はコチラ▶



日本国内で麻疹報告数が増加しています！！予防接種歴を確認しましょう。

海外での流行に加え、日本国内でも感染事例が増加しています。

令和8年1月1日～4月12日までの報告数が299件となり、昨年1年分の報告数を上回りました。

感染症対策

麻疹 (はしか) に

ちゅうい
ご注意ください

高熱
せき
鼻水



症状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻疹かな？と思ったら

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。


予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2026年3月 作成

